

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成20年 6月24日 作成
平成20年 7月17日 更新

BOX No.161401

車両情報

スバル エクシーガ
平成20年6月～

YA#系

1 / 2 ページ

ES-89Light Type N.L.

Opt.

① プッシュスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

① 注意事項

- ① エンジンイモビライザー装着車 (プッシュスタートシステム付き車を除く) には、エンジンスターターは取り付けできません。
- ② CN2ハーネスのPポジション (青色) は、必ず配線してください。 (配線を行わないと、A/T車の認識設定ができず、エンジンが始動しません。)

① 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

※セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、CN2のドア検出配線は別売のドア信号検出ユニットⅡ (商品コード: EP131) を使用して、必ず2/2ページのとおり接続してください。

① 運転席側カバー類の外し方

- ① 右サイドのカバーを外す...車室外側 (ドア側) に引っ張り外す。
- ② ロアカバーを外す...右側のネジ (2本) を外してから、手前に引っ張る。
- ③ コラムカバーを外す...下側からネジ1本。
- ④ サイドカバーを外す

A/T車設定が必要な行 ↓ のみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

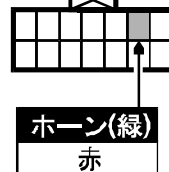
- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2緑色)
車両配線色

止めネジ等
ナット ビス 隠れビス

コラム右下側
エアバッグカバー (黄色) の奥
白色14Pカバー

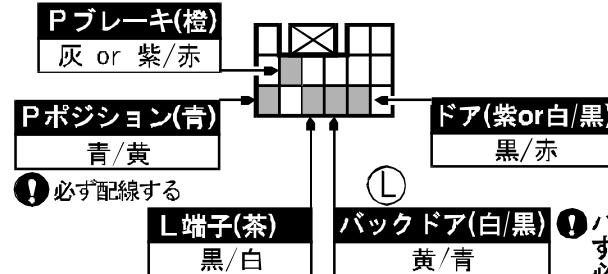


① 機能付き機種のみ配線

コラム内左下側
キーシリンダ直付け



ヒューズBOX裏の右奥上側にテーピングされている
オプション用 白色15Pカバー

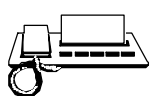


① 必ず配線する



① バックドア以外の全ドアの開閉を検出。

① バックドアの開検出を行う場合に配線する。ドア検出ユニット (別売) が必要です。



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成20年 6月24日 作成
平成20年 7月17日 更新

BOX No.161401

車両情報

スバル エクシーガ
平成20年6月～

YA#系

2 / 2 ページ

ES-89Light Type N.L.

Opt.

① プッシュスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

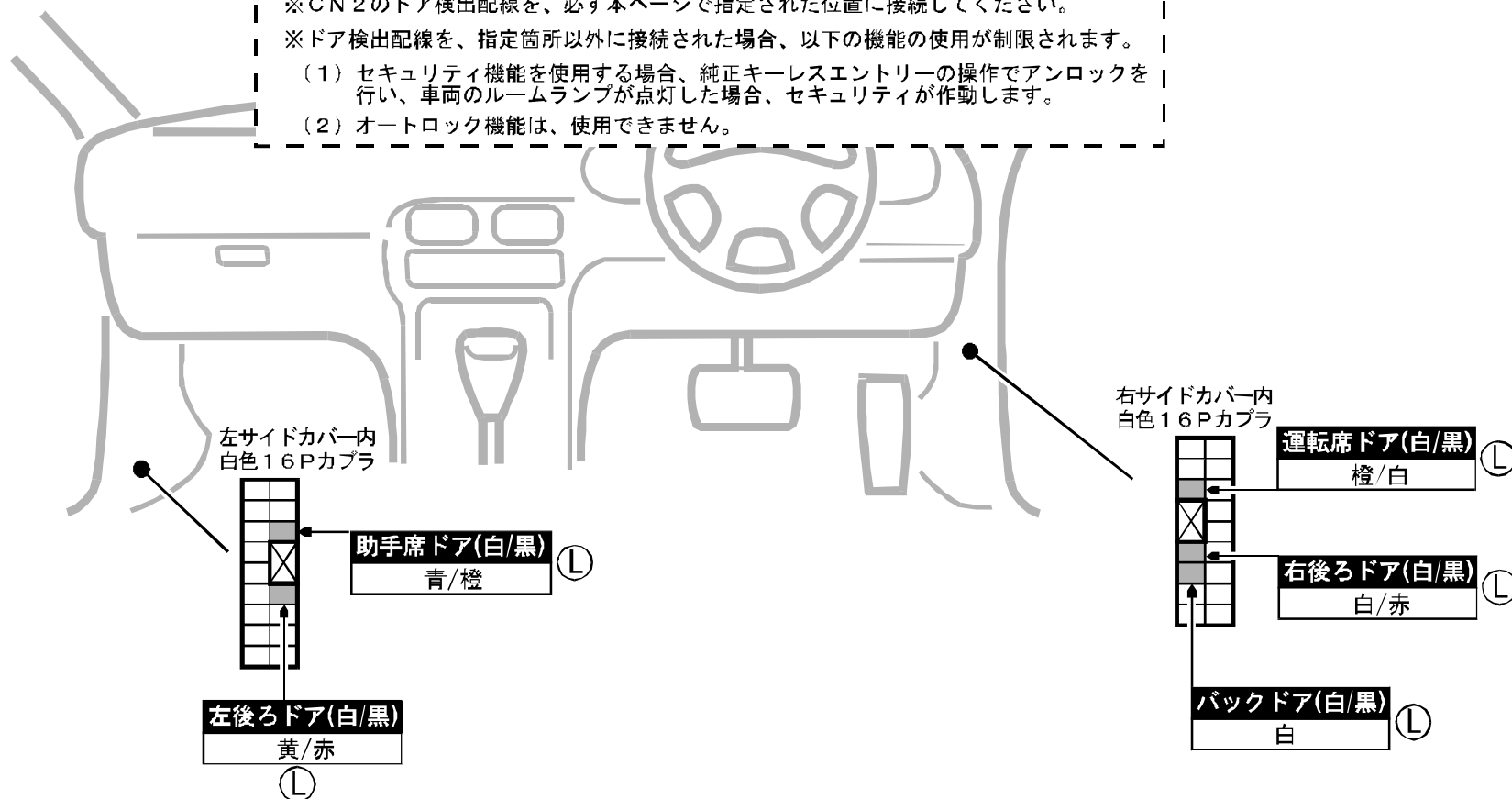
① セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ (商品コード: EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の5箇所に分岐接続してください。

① 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

※CN2のドア検出配線を、必ず本ページで指定された位置に接続してください。

※ドア検出配線を、指定箇所以外に接続された場合、以下の機能の使用が制限されます。

- (1) セキュリティ機能を使用する場合、純正キーレスエントリーの操作でアンロックを行い、車両のルームランプが点灯した場合、セキュリティが作動します。
- (2) オートロック機能は、使用できません。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



(例)

❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。